

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立東都島小 学校

児童数

93

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.71	20.83	37.65	41.29	45.98	9.68	145.38	21.41	54.88
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.00	17.48	44.95	37.05	35.48	10.06	138.40	13.80	54.24
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点は、前年度に引き続き、男女共に全国平均を上回った。しかし、男子では20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳びが、女子では握力・上体起こし・反復横とび・20mシャトルラン・立ち幅とびの数値が、全国平均より低い。これらの結果より、本校児童は足を使う運動、特に「走」に関わる種目に若干苦手な面があることがわかる。また、運動やスポーツをすることが好きと答える児童は90.5%と運動への関心は高い。

「毎日どのくらい寝てますか」の質問項目では、8時間以上の睡眠時間をとる本校児童の割合は82.7%、全国平均の72.6%と比べても極めて高い。また「朝食は毎日食べていますか」の質問項目では、毎日食べると答えた児童の割合は、86.7%と全国平均の81.4%を5ポイント程度上回る。これらのことから、家庭基盤が他地域よりしっかりと確立している中で、子どもたちは正しい生活習慣を身につけていると考える。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

狭い運動場においても進んで運動に取り組めるようにするために、運動集会や休み時間の体育館開放、放課後の校庭開放など、運動に取り組む機会を設定し、児童の毎日の運動量確保に努めてきた。また、体力向上に向けて、「業間なわとび」「業間かけあし」などを設定し運動に対する児童の意識が高まる取組を行った。

体育科学習では、運動量を確保すると同時に、体を動かす楽しさ・爽快さを感じとることができるよう活動を工夫してきた。また、キャリア教育と体力向上を兼ねて数多くのアスリートや専門家を招待し、学習指導に取り入れてきた。子どもたちの運動に対する興味・関心を高めるために大いに役立つ結果となった。

近年急激な児童数の増加に伴って、安全上児童全員が一斉に運動場で活動することが困難になってきている現状ではあるが、児童が運動の楽しさを感じ取ることや体力を向上させることを大切に考え、今後も取り組んでいく。また、地域活動やPTA活動とも連携をし、子どもたちが運動に触れる機会を提供できる活動を模索していくことも必要であると考えます。